Creative Enzymes®

ネイティブ牛フェニルエタノールアミンN-メチルトランスフェラーゼ

Cat. No. NATE-0871

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	フェニルエタノールアミン N-メチルトランスフェラーゼ (PNMT) は、ノルエピネフリンのN-メチル化を触媒する酵素であり、以下のようにエピネフリンの形成をもたらします: ノルエピネフリン + S-アデノシルメチオニン (SAM) -------> エピネフリン。このメカニズムは、S-アデノシルメチオニン (SAM) からノルエピネフリンの一次アミノ基への活性メチル基の移動を含みます。PNMTは主に副腎□質に局在していますが、ヒトを含むいくつかの哺乳類の脳や心臓組織でもPNMT活性が示されています。ウシ、ラット、ウサギの副腎□質から精製されたPNMTの分子量は37,000-38,000の範□です。PNMT活性の分析は、カテコールアミン代謝の評価において貴重な情報を提供する可能性があります。
別名	フェニルエタノールアミン N-メチルトランスフェラーゼ; ノルアドレナリン N-メチルトランスフェラーゼ; ノルアドレナリン N-メチルトランスフェラーゼ; ノルエピネフリン メチルトランスフェラーゼ; ノルエピネフリン N-メチルトランスフェラーゼ; フェネタノールアミン メチルトランスフェラーゼ; フェネタノールアミン N-メチルトランスフェラーゼ; フェニルエタノールアミン N-メチル トランスファーゼ; PNMT; S-アデノシル-L-メチオニン:フェニルエタノールアミン-N-メチルトランスフェラーゼ; EC 2.1.1.28

製品情報

種	ウシ
由来	牛副腎□質
形態	フリーズドライ粉末
EC番号	EC 2.1.1.28
分子量	37-38 kDa
活性	50-100 U/mg タンパク質
単位定義	pH 8.5、37°Cで1ナノモルのノルメタネフリンをメタネフリンに□換する酵素の量（1時間あたり）。

保管・発送情報

安定性	-20°C (-4°F)で保管してください